

川に親しむ



宮崎 不三夫さん

日野川河川清掃ボランティア

みやざき ふみお
宮崎 不三夫 さん

M.Club 会長

西伯郡伯耆町三部に事務局があるスポーツ総合企画団体「M.Club」の会長を務める宮崎さん。クラブの主な活動内容は、軟式野球やゴルフ、サッカーの青年スポーツクラブ活動のほか、子ども達を対象としたこれらスポーツ教室の開催、そして大山の緑化活動や日野川河川清掃のボランティアなど多岐にわたっています。平成15年7月の発足以来、現在の会員数は鳥取県西部を中心に、関東・関西の方も含め300人以上を数えるそうです。

「M.Club」が目指しているのは「青少年の健全育成」です。宮崎さん自身、若いころから野球やボクシング等をしてきたスポーツマンで、クラブの発足以前にも地元の野球部活動に参加したり、本業である建設会社で10年前から会社ぐるみで地域の清掃ボランティア活動を行ったりと、青少年の健全育成と地域活動を精力的に取り組んでこられ、これらの活動をもっと積極的に展開していきたいとの思いから「M.Club」を発足されたそうです。

「大きなことは出来ないけれど、人の役に立つことをしたい」と、発足時の思いを語る宮崎さん。昨年からはスポーツ以外のボランティア活動として、溝口警察署をはじめ地域の協力を得て「日野川河川清掃ボランティア」を本格的にスタートしました。「自然にふれ合って初めて、人の気持ちがわかるようになる」という思いからの開催で、「鬼守橋の交差点で信号待ちの時に、吸殻や空き缶を放り投げてしまう方が多いのでしょうか。かなりのゴミが集まりました。初めて日野川に来たという子どももありましたし、参

加したみんなが日野川の自然の中で汗を流し自分達の力で日野川をきれいにしたというよこびを感じてくれたのがうれしいですね」と感想を語っています。第1回の昨年約160人が参加。第2回の今年も約250人が参加して大いにぎわいました。

「私も子どものころには、近所の野上川で魚を獲って遊んでいましたが、今はなかなか魚がいないですね。県外の会員も『日野川で最近、鮎がなかなか釣れない』と残念がっていますよ。昔の日野川をとりもどしたいですね」と宮崎さん。

発足から丸2年を迎えて、会員も増加しているそうです。「子ども達向けの野球教室やサッカー教室に魅力を感じて入会された若いお父さん、お母さんも多いです。もちろんその後、日野川河川清掃にも積極的に参加されていますよ。もともとボランティア精神をもっておられる方が多いのですね」といいます。

クラブ名の由来について「M.Clubの「M」は「宮崎」のMでしょうか？とよく言われるのですが(笑)実は「みんな」のMであり「溝口」のMでもあります。地域のみんが一緒になって活動することと、町村合併で無くなった地域への愛着を、それぞれ名前に込めているんですよ」と笑顔を見せる宮崎さん。「鳥取県西部を拠点に活動を続けていながら、少しずつクラブを良いものにし、そして地域の発展に貢献していきたいですね」と今後の抱負を語っています。



日野川、大山での清掃ボランティアやスポーツ教室の様子